



南ベトナム援助アメリカ軍司令部発行 分隊長心得

『ベトベトしま戦か?』は分隊毎の作戦行動を行います。一分隊を約 10 名で編成し、メディック 1 名を配備します。戦争ごっこ(軍隊ごっこ)をリアルに楽しむ為、階級の上下や指示、命令系統がある事をご理解下さい。基本的に無線で作戦指示を下しますので無線の無い分隊は他の分隊と合同で行動します。その際は小隊長を本部より任命します。

辞令

本日付けを持って貴殿を分隊長に任命する。分隊長の任務は以下の通りである。

- ・ベトナム共和国国民の平和を守り共産主義者を排除する事。
- ・分隊を統率し、戦闘指揮所(CP)からの命に従い作戦行動を完遂する事。
- ・分隊の人員を把握し、生活態度に乱れのある者を律する事

分隊編成

チームで参加している場合も個人参加を分隊に組み込む場合がある。本部から部隊編成発表後、速やかに部隊人員を把握し部隊名(コールサイン)を決定する事。

ブリーフィング時に地図、メディック章の配布と他部隊のコールサインの確認を行う。

作戦行動

本部から作戦行動が下されるので、分隊を率い指示されたポイントで作戦行動を行う事。

RTO は行動中でも変更ができるが、分隊は分隊長の死亡または部隊の半数が死亡した場合、作戦行動を中止し本部へ帰還となる、速やかに CP まで帰還する事。

作戦行動中は現在地点、人員状況の把握を怠らない事。

作戦完了、または作戦中止で帰還後は、速やかに本部へ出頭し作戦結果、負傷、死亡、捕虜数の報告を行う事。行方不明者を出した分隊長は厳罰に処すので留意されたし。

作戦の失敗、力量不足と CP が判断した場合、分隊長の交代命令を出す場合もある。

部隊再編成後、分隊長は CP へ出頭し新たな出動命令が下される。

作戦内容

作戦内容は、パトロール、村の警備、拠点防衛、LZ の設営、捕虜の救出など多岐に渡る。

フィールド内は南ベトナム国内の設定なので、ブラックバジャマ=敵(VC)ではない。

我々は、ベトナム国民の援助に来ているので敵と確認の取れない者へは、乱りに発砲しない事。

交戦許可

交戦地域への派遣で無い限り、指示のない交戦は禁じられている。万一パトロール中に攻

撃を受けた場合は本部へ交戦許可を求める事。

Page.2

生活態度

分隊長は参加者全員が戦争ごっこを楽しむ為、部隊内で歴史背景、実戦とかけ離れた行動を取る等雰囲気著しく乱す隊員は厳しく注意する事。

例：ヒットコール。M16 の装填弾薬数をはるかに超えた乱射。捕虜を実際に至近距離から撃つなど空気を読めないネタ。等...

ネタ、小芝居

ヒストリカルゲームを最大限楽しむ為、部下をベトナム戦時下の一兵卒になりきらせる事。農民、ヴェトコン役の参加者からネタ振りをされる場合、分隊長は率先していじる事。南側でも陸軍と ARVN、海兵隊との小競り合いや CP との無線のやり取りなどナム心を持って楽しむ事。

無線交信

お互い日本人なので日本語の交信はやむを得ないが、雰囲気重視の為、簡単な英語を使って交信する事。こちらを This、どうぞを over に代えるだけでも可。

無線は本部と部隊のみ交信を許可する。部隊間での交信は不可。

交信例 アルファが CP に応援を求めるが、聞き取れず再送を要求された場合。

Alfa	CP CP This is Alfa over
CP	Alfa Alfa This is CP over
Alfa	CP This is Alfa break こちら a11 にて敵と交戦中、応援求む break over
CP	Alfa This is CP say again over
Alfa	CP This is Alfa I say again こちら a11 にて敵と交戦中、応援求む break over
CP	Alfa This is CP break 付近を進行中のブラボー小隊を向かわせる。break over
Alfa	CP This is Alfa break それまで持ち応える。急いでくれ break over
CP	This is CP roger out!

勝手バラバラなサバイバルゲームや自分の脳内だけのテレビゲームではなく、実際の戦争、軍隊を再現する為には、参加者各々が”お客さん”ではなく”出演者”として参加し、『ベトベトしま戦か?』と言う舞台を創り上げる気持ちがあれば参加者全員が満足できるイベントになる筈です。初めて会う人や普段、友達付き合いをされている仲間だと恥ずかしさや遠慮があると思いますが、実際の軍隊にも様々な人間関係がある筈です。貴方も分隊長と言う役柄を真剣に演じてみて下さい。

皆様のご協力の下『ベトベトしま戦か?』を成功させる事をお願い致します。